

全労金2022春季生活闘争ニュース・第42号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

《合意速報No. 18》

東海労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

東海労組は、3月17日13時から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	要 求（金庫）					回 答（金庫）				
	正職員	パートナ-職員			再雇用 嘱託職員	正職員	パートナ-職員			再雇用 嘱託職員
		メイト	スタッフ	アソシエイト			メイト	スタッフ	アソシエイト	
基本賃金	2,700円	2,700円			2,700円	応じられない	応じられない			応じられない
一時金	5.0	3.0	2.5	2.5	2.0～ 3.5	4.9	1.9	1.9	1.9	1.4～ 2.9
昨年実績	4.8	1.8	1.8	1.8	1.3～2.8	4.8	1.8	1.8	1.8	1.3～2.8
安定雇用	無期転換 登用制度	—			(実現)	—	(実現)			—
最低賃金	時間額1,090円への引き上げ					時間額1,070円				
雇用環境	私傷病休職	—	有期雇用者を正職員と同様			—	応じられない			—
	育児時短	小学校3年生まで			—	継続協議			—	
	ハラスメント	(実現)			—	(実現)			—	

《金庫の発言概要》

- 労使は組合員と金庫の未来を見据えた真摯な議論を積み重ね、本日を迎えた。それぞれの立場で尽力いただいた結果であり感謝申し上げる。基本賃金は、東海労働金庫が設立して以来、初となる統一ベア要求を掲げられた。
- 組合は、働く者の資産運用をサポートするため、商品知識や販売手法等の習得と販売実績を積み重ねてきた。この間の組合員の「頑張り」に応えるべきであるとの強い決意を感じた。不安定な社会情勢や、金融機関を取り巻く厳しい経営環境等も存在する中で、経営側としてすべての職員に前向きにモチベーションを保ちながら、今まで以上に職務に邁進していただけるよう、日頃の「頑張り」に対してどのように報いることがよいか真摯に検討を重ねてきた。

- 基本賃金の改定要求にはお応えできないが、年間一時金を含め要求項目に対し熟慮を重ねた結果である。特に、年間一時金の業績手当見合いは、組合の主張を踏まえた組合員の皆様の「頑張り」を反映した回答であることも理解いただきたい。
- 育児に伴う所定労働時間の短縮措置は、現時点では応じられないが、対象の拡大に伴う職場の環境整備に向け、労使で継続的に協議することとした。
- 残された課題に対処するため、中計のフェイズ2がスタートする。経営計画完遂には、東海労働金庫ならびに関連会社の労使がひとつにまとまり推し進めていく必要性があり、組合員のみなさんの「頑張り」なくして計画の達成はありえない。
- これからも「伴に歩み 共に生きる 働く人たちの生涯に寄り添い続ける福祉金融機関」として存在意義を発揮するため、良好な労使関係のもとに知恵を出し合い協力しながら、将来に向けた金庫の健全な発展に向け共に歩みを進めていきたい。

《森本闘争委員長の発言概要》

- すべての要求項目に対して要求通りではないため十分だとは言えないが、コロナ禍の影響もあり、不安を抱えながら日常業務への邁進と、金庫も事業運営・収益環境について外的要因の影響を受けた中、最大限の回答であると受け止めた。
- 「雇用に関する環境整備」について、回答は得られなかったものの、労組の要求主旨を踏まえ、今後、制度について前向きな姿勢が示されたものと受け止める。「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現、「誰もが安心して働き続けられる環境整備」の実現に近づくものと考えている。
- 2021年度、融資の目標未達見込みを踏まえ、会員限定ローンを推進し、低利な無担保ローンでも収益を生み出せるようにする金庫方針は十分理解し、労使一体となって邁進していかなければならないと認識している。労働者自主福祉運動の担い手として、金融インフラ維持や社会的責任を果たすため、組合員には、労働金庫の社会的使命と労働金庫でしか果たし得ない役割を忘れることなく、利用者や、東海労働金庫の発展のために前を向いて頑張ろうと伝えていきたい。労使の知恵と努力、責任を果たし、厳しい環境を乗り越えていきたい。

単組は、①基本賃金要求について、改善はできないものの定昇見合い分の保障が示されたこと、②年間一時金業績手当が昨年実績を超えること、③最低賃金の引上げが示されたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（13単組／3月17日20時20分現在）

沖縄・北海道・長野・近畿(金庫)・近畿(関連)・新潟・東北(金庫)・東北(関連)
 セントラル・中国(金庫)・中国(関連)・中央・北陸・四国(金庫)・四国(関連)
 九州・九州(関連)・東海

以 上